

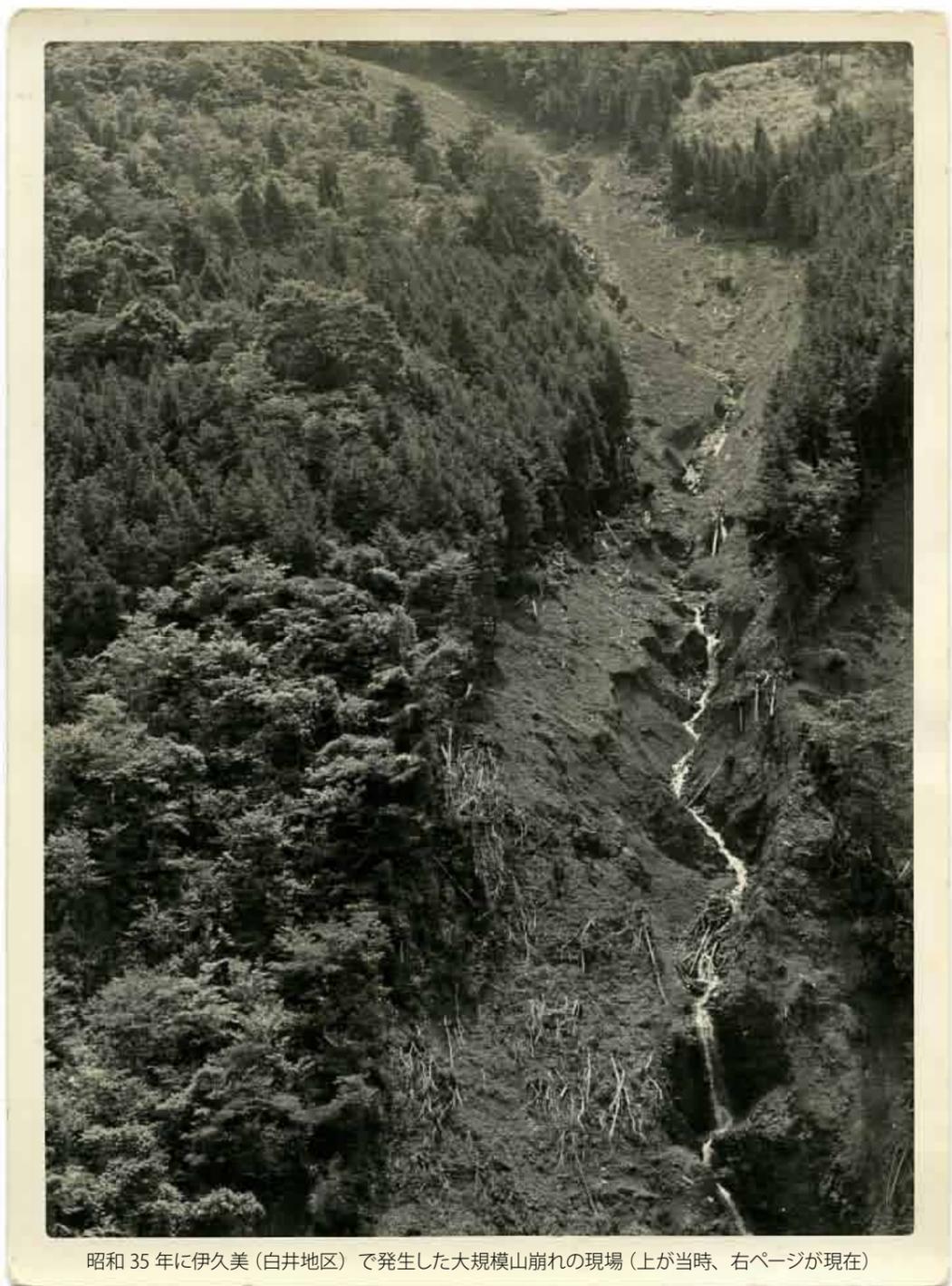
特集

災害に打ち勝つ「まち」

得た教訓から地域の防災力を強化する

わたしたちは、東日本大震災で多くのことを学びました。地震や津波による災害の悲惨さを知り、また「強い絆」が避難生活や救援など、復旧・復興に向けた大きな原動力となることも知りました。市内でも、過去に多くの災害が発生し、その都度、新しい教訓が生まれ、その対策を進めています。9月は防災月間です。この機会に地域の防災力向上につながる取り組みや方法を学び、今より災害に強い「まち」を築きましょう。

問 防災課 ☎ 36・7320



昭和35年に伊久美(白井地区)で発生した大規模山崩れの現場(上が当時、右ページが現在)

爪あとは 緑の中に

記憶と教訓は 言葉で語り継ぐ

豊富な自然と風水害

わたしたちが住む島田市は、緑豊かな山々と冷涼な川など、豊富な自然に囲まれた地域です。歴史的に見ても、茶業や林業など、自然の恵みを受けて栄えてきたことがわかります。

しかし、自然豊かであるがゆえ、風水害にも悩まされてきました。東海地震の発生が危ぶまれて以来、地震への防災対策が進められてきましたが、市内で発生した自然災害の多くは、大雨や台風によるものです。このため、地震に対する備えはもちろん、風水害の知識も深めて、広い視野で災害対策を講じておくことが重要になってきます。

上の写真は、昭和35年に伊久美白井地区で発生した大規模山崩れの現場で、右ページは現在の様子です。災害が発生して50年が経過すると、成長した木々で覆われてしまい、爪あとを目にすることはできません。しかし、災害の記憶と教訓は、言葉によって語り継がれています。

いずれ、災害を体験したことがない世代が地域を守る時代になります。地域の防災力を高めるため、ときには災害の体験者や当時の様子を知る人の言葉に、耳を傾けてみるのが大事ではないでしょうか。



広報しまだ

Shimada



目次 — CONTENTS —

- 2 特集：災害に打ち勝つ「まち」
- 12 新島田図書館開館
- 15 図書館だより
- 16 市政あらかると：島田のお茶「謹製事業」／災害廃棄物に関する測定結果／モンゴル・ハンオール区訪問など
- 18 まちの話だい
- 20 しまだ情報：児童手当／行政相談委員／東海道金谷宿大学教授募集／市営住宅入居者募集／家庭教育講座など
- 28 動物愛護週間
- 29 楽習センター 冬の短期講座
- 30 暮らしのシグナル
- 31 スポーツ INFO
- 32 けんこうナビ(10月)
- 36 便利帳／彩りもう一品
- 38 掲示板／みんなのひろば
- 40 しまだ人：米田真由美さん

表紙 — COVER STORY —

初倉南小で実施された総合防災訓練には、多くの中学生も参加し、防災意識を高めました。

